

鳴沢菜（鳴沢村）

1 地域の概要・栽培の歴史

江戸時代から栽培されてきたと言われている。長野県で栽培されている「野沢菜」と同様のカブナで、主に葉柄を利用するが肥大したカブも利用されている。

現在では自家用で栽培がされ、冬期の貯蔵野菜として漬け物加工用に利用されている。また、産官学共同研究によって系統選抜された優良系統の種子により、鳴沢菜の地域ブランド化の取り組みが行われている。



2 セールスポイント

葉柄が柔らかく浅漬けに適している。また、肥大したカブも利用できる。

3 出荷時期

10月下旬～11月上旬